

コミュニティ・サイトの レイティング動向

2004年12月17日

財団法人インターネット協会

目次

0. コミュニティ・サイトに関連した事件
1. コミュニティ・サイトにおける問題点の整理
2. 問題点に対する既存の取り組み
3. コミュニティ・サイトのレイティング方法と課題

0. コミュニティ・サイトに関連した事件

長崎佐世保事件

- 長崎家裁佐世保支部の決定要旨(2004年9月15日)より:
「・・・会話でのコミュニケーションが不器用な女兒にとって、交換ノートやインターネットが唯一安心して自己を表現し、存在感を確認できる「居場所」となっていた。これらに参加していた被害者は(・・・中略・・・)女兒への否定的な感情を表現したとみられる文章を掲載した。女兒はこれを「居場所」への侵入ととらえて怒り、被害者に対する確定的殺意を抱き、計画的に殺害行為に及んだ。・・・」
- 事件に対するネットの反応
 - － 大手掲示板(2ちゃんねる)
 - 加害者児童の顔写真と称する写真画像が流出
 - その集合写真で彼女が着ていたパーカーのロゴ「NEVADA」から愛称ネバダ、ネバ子などと呼ばれることに
 - NEVADAのパーカーを買えるサイトの紹介 等
 - － ニュースサイト(探偵ファイル)に、加害者児童の自宅と一家全員の名前が記された(ぼかしてあるがうっすらと字が読める)郵便ポストの写真が公開
 - － 加害者児童のイメージ(ネバダ)が一人歩きし、ネバダに「萌える」現象。加害者児童のファンサイトが登場
 - NEVADA崇拜クラブ
 - NEVADA～血を浴びた小6の女の子のファンクラブ～
 - － 加害者と被害者が関わっていたホームページの記録などを資料に、有志が共同で詳細に分析していく掲示板が登場
 - － 加害者児童のホームページのミラーサイトが保存された(台湾のドメイン)
 - － ウェブログでの意見公開が多かった(参考:「週刊文春」)

自殺掲示板・ネット集団自殺

- 埼玉県入間市のネット集団自殺(2003年2月11日)
 - アパートの一室で男女3人が集団自殺。男女が知り合った自殺志願者サイトには前年12月、心中を呼びかける書き込みがあった。
 - 書き込み内容は「心中相手を探しております。方法は練炭による一酸化炭素中毒死です。練炭・コンロ・睡眠薬・密封できる部屋。全てそろえ終わりました。参加したい人には、睡眠薬を差し上げます。ただし、女性に限ります。やっぱり独りだと寂しいですからね」というもの
(出典: YOMIURI ON-LINE <http://www.yomiuri.co.jp/net/news/20030212ij51.htm>)
- 埼玉県皆野町の集団自殺(2004年10月12日)
 - レンタカーの中で男女7人が集団自殺。死亡した女性の1人は数年前から自殺サイトを開設していた

1. コミュニティ・サイトにおける問題点 の整理

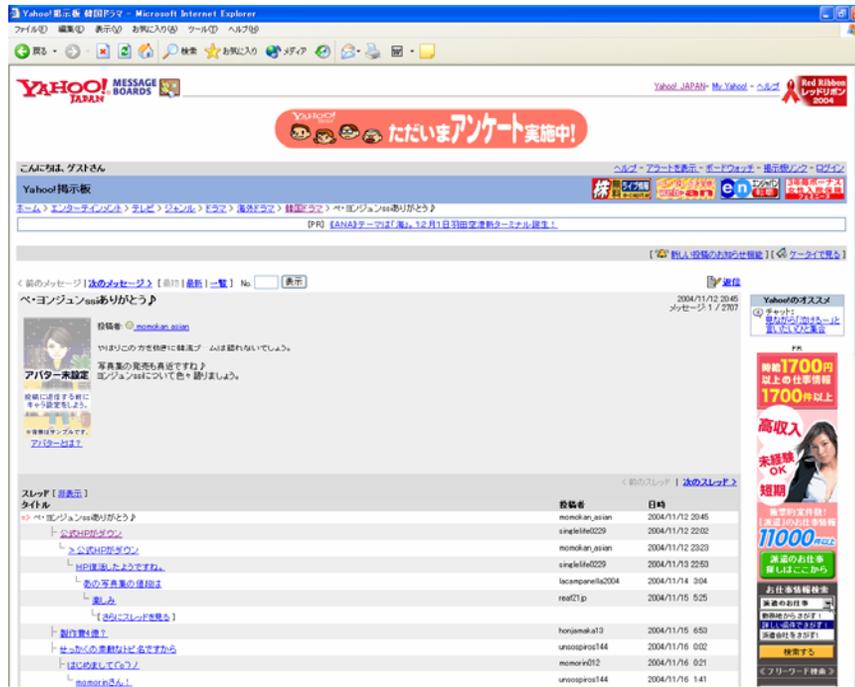
コミュニティ・サイトの概要

- 関心や興味を共有する人々が集まる、情報交換などのコミュニケーションを中心としたWebサイト
(出典:「IT用語辞典 e-Words」)
- 同じ趣味を持っている人たちのコミュニティサイトから、同じ職業、同じ資格を目指す人たちのコミュニティサイト、さらには同じコンピュータソフトを使っている人たちのコミュニティサイトなど、その目的と種類は様々で、サイト上では掲示板やチャットなどを利用して情報を交換・共有することができる
- コミュニティ・サイトのメリット
 - 自分と同じ趣味や関心を持つ人を容易に見つけることができ、距離的制約を超えていつでもコミュニケーションをすることができる
 - 最新の情報をすぐに入手できる(即時性)
 - 現実社会のしがらみにとらわれない交流ができる
 - 自分の意見を自由に発信できる

コミュニティ・サイトの概要

- 従来はパソコン通信(アスキーネット、PC-VAN、NIFTY-Serveなど)において電子掲示板、チャット、電子会議室などのサービスが提供されていた
- 96年頃からプロバイダがダイヤルアップ接続サービスを提供するのに伴い、インターネット上の掲示板等に置き換わっていった
- コミュニティ・サイトの種類
 - 掲示板、チャットルーム
 - 個人ホームページ、ウェブログ
 - SNS (ソーシャルネットワークサービス)
 - コミュニティサービス

掲示板の仕組みと特徴



- 一つの掲示板サービスには、テーマ毎に複数の掲示板がある。さらに個々の掲示板には、話題ごとに複数のスレッドが立てられる
- 優良なもの、有害なもの、どちらでもないものの3つに大別できる

コミュニティの名称	事前登録の可否など			ハンドルネームの利用	利用料
	読む	書く	登録事項		
Yahoo!掲示板	不要	要	Yahoo!Japan ID登録(メールアドレス、郵便番号、性別、生年月日、業種、職種)	要	無料
フォーラム@nifty	※		@nifty ID登録(メールアドレス、氏名、性別、生年月日、郵便番号、住所、電話番号、緊急連絡先、クレジットカード情報(有料サービス利用時の決済のみに使用))、ハンドルネーム	要	無料
2ちゃんねる	不要	不要	なし	不要	無料

※掲示板によって登録の可否が異なる(メンバー、セミオープン、オープンの区別がある)

(参考:C&C振興財団監修『デジタル・ツナガリ』)

ウェブログの仕組みと特徴



- ウェブログ (Weblog) : ウェブ上の記録 (ログ)。ブログとも
- もともとは、Web上で発見したさまざまな情報をリンクによって読者に紹介するとともに、自分の意見をコメントとして掲載するサイト (= 個人運営のニュースサイト)
- 広義には、時系列で情報が表示されるサイトで、ある程度頻繁に更新されるもの、あるいは、ウェブログツールを用いて作成されたサイト
- 日本では、従来からネット上に日記サイトが存在していたが、ウェブログツールが日記作成にも適していることから使われるようになり、ウェブログというと「日記サイト」の傾向が強い。

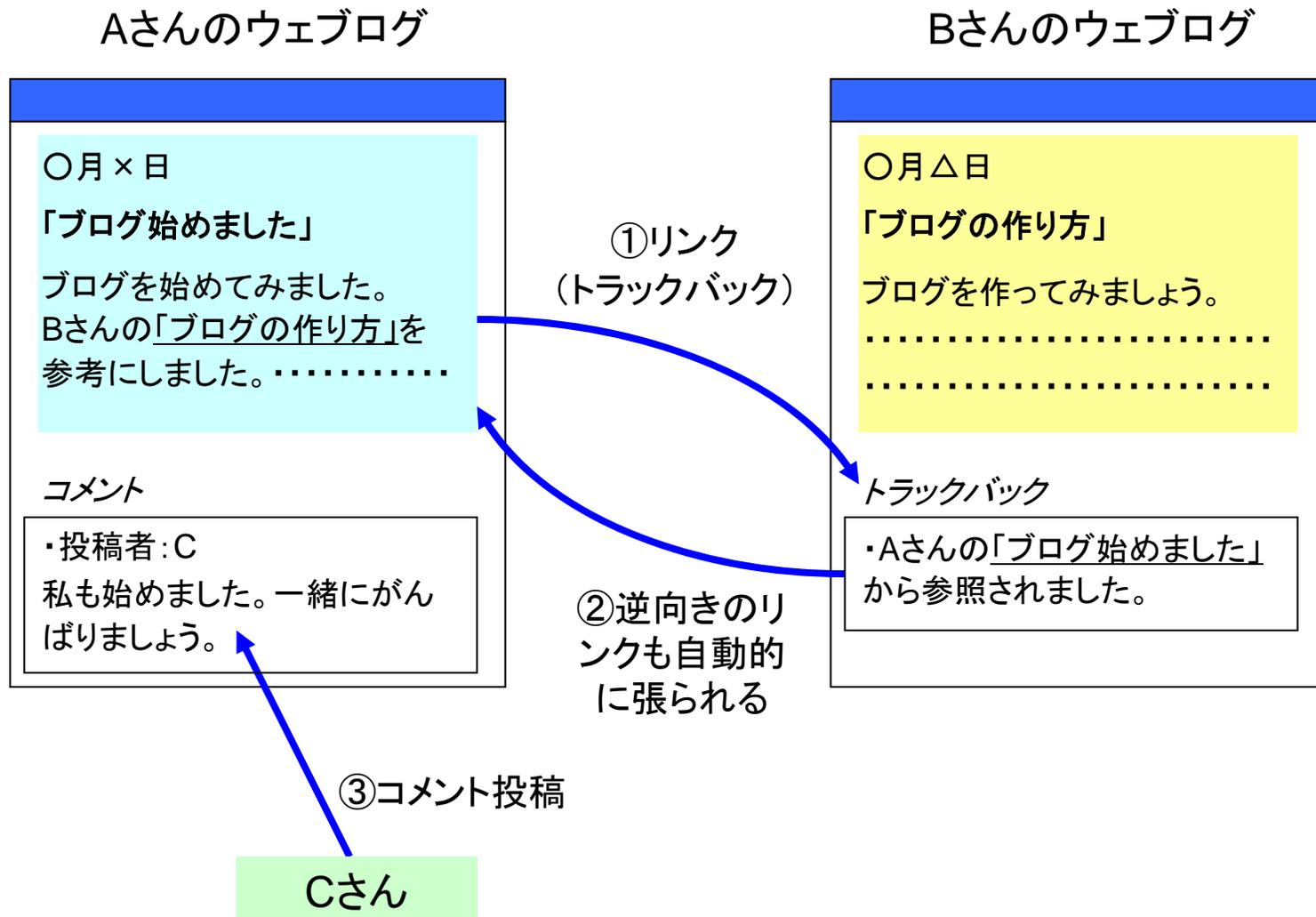
(参考: 『I/O別冊 ウェブログ完全ガイド』工学社)

ウェブログの仕組みと特徴

- ウェブログの特徴
 - ホームページ作成の知識がない人でも、ツールを使って容易に、手間をかけずに作成できる
 - カテゴリ別や月別、日別に整理したページを容易に作成できる
 - トラックバック機能
AさんがBさんのウェブログにリンクを張った場合、そのことをBさんのウェブログに通知し、Bさんのウェブログ上に「Aさんのウェブログから参照された」ということを自動的に表示する機能(逆リンク機能)
 - コメント機能
ウェブログの個々の記事に対して読者が直接にコメントを投稿できる機能(掲示板的機能)
 - 更新情報の自動配信
- ウェブログサービスの例
 - はてなダイアリー: 無料、ユーザ数7万人
 - ココログ: @nifty会員は無料、ユーザ数約4万8000人
 - NAVERブログ: 無料、ユーザ数13万6000人

ウェブログの仕組みと特徴

- トラックバック機能とコメント機能



コミュニティサービスの仕組みと特徴

- コミュニティ内で、参加者がそれぞれ自分のバーチャルなスペース(個人ホームページや「家」など)を持ちながら、他の参加者と自由にコミュニケーションを行うサイト
- 各コミュニティは一定のルールを持つ。参加者はコミュニティのバーチャルな「市民」となる感覚
- コミュニティ・サイトの様々なサービスを複合的に提供しており、ネット上の行動により奥行きと多様性を持たせている
 - 掲示板
 - メール
 - 個人プロフィール／個人ホームページ／ウェブログ
 - アバター(参加者の分身キャラクター)
 - チャット
 - グループ／サークル
- 一種の「出会い系サイト」とも言えるが、リアルな出会いには重点が置かれていない
- サービスの例
 - ポータル型(コミュニティサービスを総合的に提供)
 - Yahoo!ジオシティーズ
 - Cafesta
 - フォーラム@nifty
 - SayClub
 - タウン型(バーチャルな街)
 - 富士通ハビタット(サービス終了)
 - 夢里村
 - ララシティ
 - ハピタン☆コム
 - その他
 - 関心空間
 - マグネット

Cafesta



- 長崎佐世保事件の加害者児童が使っていたコミュニティサービス
- 登録料、利用料は無料。会員数135万人。「アバター」と呼ばれるユーザの分身キャラクターを使って、メール、チャット、掲示板、個人ホームページ等の15種類のコミュニケーションサービスをシームレスに利用できる
- 2003年夏より10代のユーザが増加 ← 常時接続の普及によって、子どもが気軽にネットに接続できる環境が整った
- 女性比率は50%弱。若年層ほど女性比率が高い
- ネット利用暦が短い初心者ユーザが多い。クラスの友人同士でサービスを利用する会員も多い
- トラブル対応策
 - マナー向上のための専用ページを設置。定期的にメールマガジンでも周知
 - サポートスタッフによる24時間サイト巡回
 - 通報窓口の設置
 - 会員規約にて禁止行為を明記

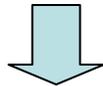
ララシティ



- 登録料、利用料は無料。「人口」6600人
- 「市民登録」で氏名・メルアド・性別・生年月日・都道府県・職種・業種その他、アバター、居住する「部屋」を登録する。他の利用者に公開するプロフィール(趣味、血液型、性格、興味など)を別途編集できる
- 利用者のページ(部屋)には、プロフィール、日記帳、ゲストブック、預金通帳などのメニューあり。預金通帳には「家賃」「電話代」「電気代」「給与」「臨時収入」などの費目あり
- 「市役所」「郵便局」「新聞社」「警察」「市民センター」「職業安定所」「カフェ」「教会」などの施設がある
- 利用規約
 - 禁止事項(迷惑な記事の投稿、有害なプログラムの送信、名誉毀損行為、虚偽情報の意識的な送信など)
 - 利用者が違反した場合は、事前に告知することなく、利用者に対する本サービスの停止や市民登録の抹消を行える
 - 投稿の禁止内容もあり、違反した場合は、許可を得ることなく、投稿内容を削除することができる 15

コミュニティ・サイトの問題点

- コミュニティ・サイト一般の問題点
 - 匿名性が高い(ウェブログ、SNSでは改善)
 - 匿名のメリット
 - 自由な発言を促進
 - 誰でも参加しやすい
 - 本音を言いやすい
 - 匿名のデメリット
 - 無責任な発言を許容
 - 意図的に誤った情報を流される恐れ
 - 意図的に悪意ある情報を流される恐れ
 - 相手がどんな人物かわからない



- 情報を信頼してよいかどうかの判断が難しい
 - 有害プログラムへの誘導(ウィルス、ブラウザクラッシャー等)
 - 広告・宣伝目的
 - 年齢・性別の詐称、なりすまし
- 誹謗・中傷
- 殺害予告、爆破予告

コミュニティ・サイトの問題点

- コミュニティ・サイト一般の問題点
 - － コミュニケーションにおいて文字情報が中心
 - 表情や声色、仕草が伝わらないため、自分の意図を正確に伝えることが難しい
 - 文字情報を中心に相手のイメージを構築
 - 相手と行き違いを起こして相手を傷つけるような発言する恐れ
 - 相手に騙される恐れ
 - 顔文字、ギャル文字を使った、特定層にしか分からないコミュニケーションの発達
 - － 「ネット依存」
 - チャットやオンラインゲーム等によって、精神的に充足し、安定を得ている状態で、日常生活において生理的に必要と思われること(生理的欲求)以外は、全てに近い時間をオンラインゲームやチャットに費やして生活している状態
(出典: 牟田武生『ネット依存の恐怖』(2004年))
 - 引きこもりの子どもたちはインターネットで何をしているか？
 - － オンラインゲーム(男子生徒に多い)
 - － チャットルーム(女子生徒に多い)

コミュニティ・サイトの問題点

- 掲示板の問題点

- 出会い系サイトを通じた児童買春等の犯罪
- 誹謗・中傷
- 他人の個人情報公開
- 掲示板荒らし

- ネット殺害予告、殺害依頼

- 「人殺しマン参上！今日の午後惨事に神奈川の〇〇小学校に参上します」(2004年10月)・・・世間を驚かせようという動機
- 「明日、大阪のほうの小学生等を殺害します」(2004年5月)
- 「報酬3000万円で妻を殺してくれ」(2003年10月)
- 殺害予告書き込みがあった場合、警察は裁判所から差押え許可状を取得し、プロバイダに書き込み者情報の開示を要求できる

コミュニティ・サイトの問題点

- 掲示板の問題点

- 自殺掲示板、ネット集団自殺

- 匿名性が高いので本音を出しやすい。本人と同様に自殺を志向する人々の中で普通なら話せないような内容を思う存分話せる。
- 自殺予告の場合、自殺は犯罪ではないので、殺害予告とは異なり、警察は裁判所から差押え許可状を取得できず、プロバイダに書き込み者情報の開示を要求できない
- 韓国では2002年に警察当局が自殺系サイトの一斉取り締まりに乗り出し、管理人と自殺志願者など20人を指導し、80のサイトを閉鎖させた
(出典:Mainichi INTERACTIVE 2003年9月3日記事)
- 2003年3月に山梨県で起きた男女4人によるネット集団自殺未遂事件では、4人が互いに自殺を手助けしたとして、自殺ほう助未遂の容疑で書類送検された
- 自殺予防サイト
ネット上で本音を語り合い、自殺を思いとどまらせる。ネット版「いのちの電話」

コミュニティ・サイトの問題点

- 掲示板の問題点

- 家出掲示板

- 家出を希望している児童同士や、家出人を受け入れようとしている人との情報交換の場
- 家出人を受け入れようとしている人の目的がグレーな場合がある

- 幼児愛好家の匿名の掲示板

- 犯行手口の紹介、防犯商品等の情報交換

- 人権侵害

- 少年犯罪者の実名や顔写真の公開
- プロバイダ業界団体のガイドライン
 - プロバイダ責任制限法 名誉毀損・プライバシー関係ガイドライン。2004年10月改定
 - 法務省が被害者本人に代わって接続元であるプロバイダに削除を求めるとができるとのルールを明確化
 - ただし、削除するか否かの判断はプロバイダ側に委ねられている
- イラク邦人殺害事件の殺害映像の投稿

コミュニティ・サイトの問題点

- ウェブログの問題点

- コメントスパム:

アダルトサイトの宣伝などを目的として、ウェブログに内容と無関係な迷惑コメントやトラックバックを送りつけること。

- 人気のあるウェブログに自サイトのURLを含むコメントやトラックバックを送れば、多くの人の目に触れる
 - 沢山のウェブログに自サイトのURLを含むコメントやトラックバックを送れば、検索エンジンの表示結果を上位に押し上げることができる
 - ユーザ毎にウェブログへのコメントを「許可」「拒否」「確認するまで保留」に設定するなど、いくつかの対策方法がある
(参考:「インターネットマガジン2004年12月号」)

- 第三者の目でチェックされていない

- 思想的に偏っている危険性
 - 見知らぬ人の考えに感化される危険性

2. 問題点に対する既存の取組み

掲示板における取組み

- Yahoo!掲示板

- ID登録によるユーザの管理

- 掲示板に書き込むためには、Yahoo! JAPAN ID登録が必要
- ID、パスワード、メールアドレス、郵便番号、性別、生年月日、業種、職種を登録
- Yahoo! JAPANの他のサービスと共通
- IDはYahoo! JAPANのサービスを使う上での利用者の「本名」なので、変更はできない
- 掲示板ではIDがデフォルトのユーザネームとなるが、ニックネームを使用したり、掲示板のカテゴリに応じて複数のニックネームを使い分けることは可能

- 公開プロフィールによる相手の確認

- 利用者は他の利用者に公開するためのプロフィールを設定できる
- ID、ニックネーム(本名でもよい)、写真、アバター、住所・居住地域、年齢、未婚/既婚、性別、職業、メールアドレス、趣味、最近の出来事、自己PR、Yahoo!オークションの自己紹介文、おすすめサイト、興味のある分野、よく利用するYahoo!サービスを登録できる
- ニックネームごとに、それぞれ別の公開プロフィールを持つことが可能だが、IDは変えられない
- ただし、「同じトピック内で複数のニックネームを使用して他の人物になりすます行為はマナー違反」とされている
- Yahoo!オークションの利用者は公開プロフィールの中に「オークション取引の評価」の結果も表示されるので、相手の信頼性の参考にすることができる

- 利用規約

- 利用者が利用規約に違反する投稿をした場合、事前の通知なしにIDや、メールアドレス、投稿、プロフィールなどそのIDに関連したすべての内容を消去することができる
- 利用規約に違反している投稿の通報機能(お問い合わせフォーム)あり
- Yahoo! JAPANでは各参加者の行動を逐一チェックしてはならず、掲示板やプロフィールに利用者が発信された内容に手を加えることはない
- 「一般社会と同様に、参加者ご自身の判断と自己責任というルールに委ね」としている 23

掲示板における取組み

- フォーラム@nifty
 - ID登録によるユーザの管理
 - 「フォーラム」と「サークル」の2種類のコミュニティがある
 - 各「フォーラム」にはテーマごとに掲示板があり、掲示板には「メンバー」「セミオープン」「オープン」の区別がある
 - 「メンバー」では読み・書きともに@nifty ID登録が必要。「セミオープン」では書き込みのみID登録が必要。「オープン」はID登録なしに誰でも参加できる
 - ID登録ではメルアド、氏名、性別、生年月日、郵便番号、住所、電話番号、緊急連絡先、クレジットカード情報(有料サービス利用時の決済のみに使用)を登録
 - ID登録とは別に、ハンドルネーム登録も必要。ハンドルネームは固定
 - 公開プロフィールによる相手の確認
 - 利用者間で公開するプロフィールも設定可能
 - ハンドルネーム、基本イメージ(アバター)、生年月日、血液型、出身地、現住所、趣味・特技、好きなもの等を登録できる
 - 管理人の設置
 - 各「フォーラム」にはマネージャーと呼ばれるリード役がいる
 - 会員制
 - 「サークル」の中には、サークル入会登録が必要なものもある
 - 利用規約
 - ユーザが利用規約に違反した場合もしくはそのおそれのある場合、以下の措置をとれる
 - ユーザが発信する情報の削除
 - IDの使用の一時停止
 - ユーザの除名処分

掲示板における取組み

- エキサイト(株)の「エキサイトフレンズ」
 - インターネット上で趣味や考えの共通する仲間を見つけ、メッセージ(ミニメール)をやり取りすることが出来る『コミュニティサービス』。18歳未満も利用可。
 - 安全管理体制を整え、トラブルが起きないように努力
 - 自己PRの書き込みチェック
 - 自己PRは利用者が登録してから24時間後に公開
 - この間に、キーワードブロックによる公序良俗に反する言葉のブロックと、管理者の目によるエキサイトフレンズ審査基準に基づくチェックを行う
 - 下記のようなエキサイトフレンズ審査基準に反する内容のPRは、削除し、登録者に対して警告
 - 公序良俗に反する又はワイセツな記載(エッチ・不倫・援助交際・売春・買春・ナンパ等)
 - 個人情報開示(実名・詳細住所・電話番号・携帯電話番号・メールアドレス等)
 - 未成年を害するような事項 等
 - 特定の相手からのミニメールの着信拒否
 - 管理者への通報機能
 - 不快・悪質な内容のメッセージを受け取った場合、エキサイトフレンズ管理者に通報できる
 - 通報を受けたエキサイトフレンズ管理者は、直ちに事実確認を行い、相手にエキサイトフレンズ管理者名で警告を送信し、必要があれば強制退会処理

掲示板における取組み

・その他の取組み

・掲示板の閲覧・書き込み制限

- ・フィルタリングソフトによって、掲示板やチャットの利用を全面的に禁止したり、利用を許可した上で有害な書き込みのあるページだけをブロックしたり、有害な書き込みの投稿を禁止したりする
- ・OCNプロテクトなど

・コミュニティ監視サービス

- ・掲示板等のコミュニケーションサイトにおける不適切な表現を監視
- ・専用サーバにインストールしたフィルタリングソフトによる監視
 - ・掲示板に書き込みがあった場合、すぐには反映させずに、書き込まれた文章に対しまずフィルタリングソフトで語句チェック
- ・一定の判定スキルを有した人員による24時間365日監視
 - ・語句チェックを通過した書き込みは人間により内容を判断した後に、掲示板に反映(約5分で反映)

・コンテンツ安心マーク

- ・平成16年度より総務省において「コンテンツ安心マーク」(仮称)制度の創設に向けた調査研究を実施
- ・一定基準を満たした掲示板等のウェブサイトの推奨マーク
- ・運用手順
 - ・ウェブサイト開設者は第三者審査機関に対してマーク取得を申請
 - ・第三者審査機関は審査基準に則り審査を行い、マーク取得を認定
 - ・ウェブサイト開設者は自分のサイトにマークを貼り付け、審査基準に従った安全・安心なサイト運営を行う
 - ・第三者審査機関は認定を受けたウェブサイト開設者の運営状態をフォローする

SNS(ソーシャルネットワーキングサービス)



- 米国で2003年春に誕生。一種の折り目正しい「出会い系サイト」
- 他の会員と情報交換をして人脈を広げることが目的。会員は自分のホームページを持ち、掲示板に近況を書き込んだり、他の会員とメールでやり取りする
- 会員は氏名、写真、性別、履歴等の個人情報をおの他の会員に対して公開
- 大半のサービスは既存会員の紹介がないと参加できない(クローズドなコミュニティ)
- 情報発信者の特定が容易なため、無責任な書き込み等は抑制される
- サービスの例
 - mixi:会員数17万人

3. コミュニティ・サイトのレイティング方法と課題

フィルタリングソフトのカテゴリ区分

- コミュニティ・サイトに適用できるカテゴリ
 - コミュニケーションに関連したカテゴリ
 - A社の例
「出会い・異性紹介」「結婚紹介」「ウェブチャット」「メッセージャー」「掲示板」「IT掲示板」
 - B社の例
「出会い」「掲示板」「チャット」
 - 掲載内容に応じて個別に適用できるカテゴリ
 - A社の例
「違法行為」「誹謗・中傷」「自殺・家出」「主張一般」「性行為」「ヌード画像」「グロテスク」「文章による性的表現」など
 - B社の例
「セックス」「ヌード」「暴力」「言葉・表現」など
- 例えば「掲示板」を規制カテゴリとして選択すると、すべての掲示板がブロックされてしまう
- 「掲示板」の中にも優良なものと有害なものがある。有害なものだけブロックして、優良なものはむしろ推奨できるようにするべき

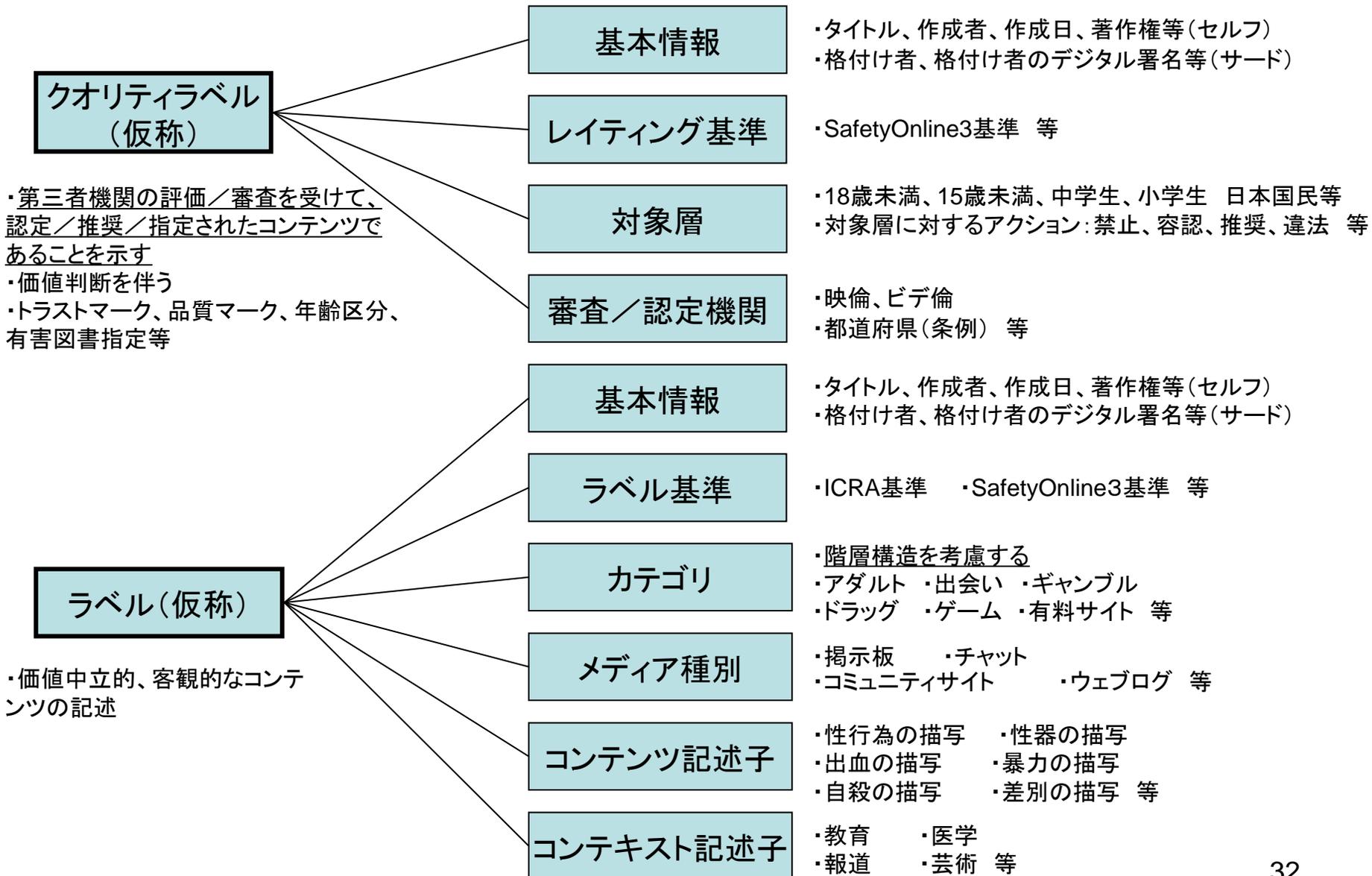
コミュニティ・サイトのレイティングの課題

- コミュニティ・サイトのリアルタイム性
 - 日々更新されるので、スレッド単位(掲示板)や記事単位(ウェブログ)でのレイティングは難しい
 - テーマとしては良い掲示板でも、管理者が不適切な投稿を放置してしまった場合、有害な掲示板になりうる
- レイティングの単位
 - 掲示板 → スレッド単位ではなく掲示板単位
 - ウェブログ → 記事単位ではなくウェブログ単位
 - コミュニティサービス → 個人ホームページ単位
- 優良な掲示板、有害な掲示板の判断基準をどのように設定したらよいか

コミュニティ・サイトのレーティングの方向性

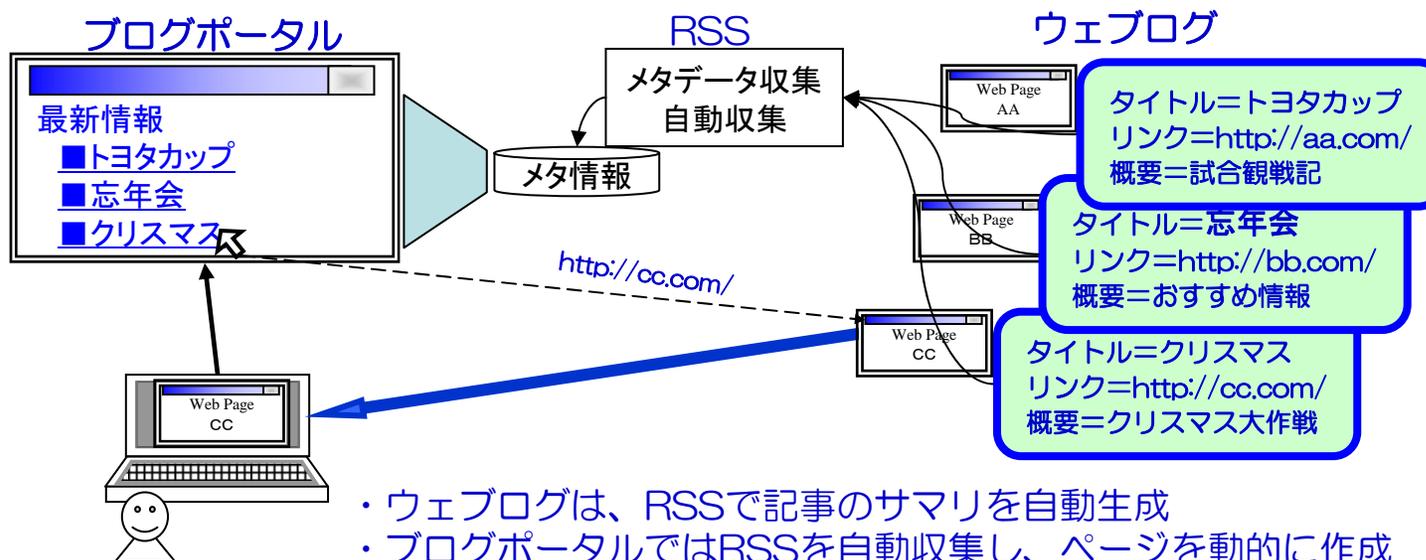
- 価値中立的な分類
 - － 掲載テーマによるレーティング
 - 掲示板やウェブログが扱っているテーマに沿って、「スポーツ」「旅行」「自殺」「アダルト」等のカテゴリ区分を行う
 - － メディア種別によるレーティング
 - 「掲示板」「チャットルーム」「個人ホームページ」「ウェブログ」「コミュニティサービス」等のコンテンツの形態による区分を行う
- 価値判断を伴う分類／レベル分け
 - － 管理の度合いによるレーティング
 - ID等によるユーザの識別
 - 利用規約の内容
 - 通報機能の整備
 - 管理人による管理・監視体制
 - 書き込みのキーワードブロックの実施 等
 - － 年齢別によるレーティング
 - 法令(出会い系サイト規制法等)の規定に準拠した年齢制限
 - － クオリティラベル
 - 第三者機関が認定したラベル／マーク
- 青少年を有害な情報から守るために、上記を組み合わせて
 - － 価値中立的な分類で、アダルト等の成人向けと思われるカテゴリはブロック
 - － 価値判断を伴う分類／レベル分けで、対象年齢が成人向けの情報はブロック
 - － クオリティラベルで、第三者機関が青少年向け(優良)と認定した情報は許可
 - － その他のグレーなものについては、管理の度合いやメディア種別により保護者がブロックするか許可するかを選択

レーティング情報のモデル案



RSSによるセルフレイティング

- RSS (RDF Site Summary, Rich Site Summary)
- ウェブログやニュースサイトで使われるメタデータ。そのサイトのコンテンツのサマ리를記述できる
- ウェブログ・ツールで記事作成時に、同時に自動作成／自動更新され、特定のURLに設置される。これにより、記事の更新情報を配信できる
- 応用として、RSSメタデータの中にセルフレイティング情報を追加できるようにすることで、セルフレイティングの促進やラベル情報の流通を期待できる



- ウェブログは、RSSで記事のサマ리를自動生成
- ブログポータルではRSSを自動収集し、ページを動的に作成
- 利用者がブログポータルを訪れ、具体的な情報を得るためにクリックすると、情報発信源であるそれぞれのサイトからオリジナル情報を取得することができる